



TOPIC *prompt report*

必読!

医療従事者のための 新型インフルエンザへの具体的な対応 —冷静で適切な対応のために何が必要か?—

【新型インフルエンザ A (H1N1)】

森兼啓太 (山形大学医学部附属病院検査部 准教授)

2009.11.17 追加コメント 「流行状況とワクチン接種」

■流行がピークに近づいた模様

新型インフルエンザが疑われる患者に対して、PCR による遺伝子診断を原則として行わず、必要な治療を施すようになって久しい。前回の Web 記事 (9.18 追加コメント) では、8 月半ばごろから、[季節性インフルエンザの状況把握のための定点報告 \(全国約 5,000 ヲ所の定点医療機関からの患者報告\)](#) によるデータでも流行が検知されるようになったことを述べた。8 月下旬には定点あたり 1 を超え、9 月上旬はやや足踏み状態であったが、中旬から再び増加しはじめた。

10 月に入ると流行は一気に拡大し、第 44 週 (10 月 26 日～11 月 1 日) には定点あたり 33.28 まで達した。ここまで、定点あたり 1 を超えてから 11 週間かかっている。季節性インフルエンザでは通常 8 週程度でピークに達するので、それよりはやや緩やかな流行拡大であった。しかしその翌週である第 45 週 (11 月 2 日～8 日) には 32.76 と前の週より若干減少した。この週は祝日が 1 日あり、実際にはピークに達していない可能性もあるが、[折り返し点は近いものと思われる。](#)

地理的にみても、一時北海道での大きな流行が報じられていたが、今はほぼ全国的に均等な

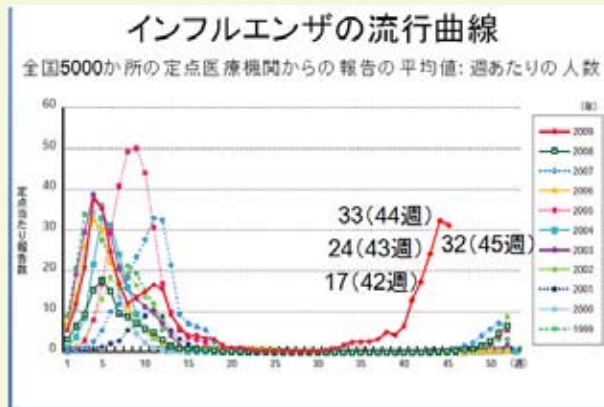


図1 インフルエンザの流行曲線 (国立感染症研究所 感染症情報センター作成の図を一部修正)

流行となっている。 どこの医療施設もこれ以上に大幅に患者が増加することは考えにくい。

ここまでの累積受診患者数の推計は約740万人である。実際の患者数はこれに医療機関を受診しなかった軽症者が加わるが、 これまでに日本国民の7%程度が罹患したことになる。 ここで折り返せば、最終的にこの第一波で国民の約15%が罹患する計算になる。

■ 大多数の患者は軽症

死亡者のニュースが散見されるが、いまだ50数名である。感染者に占める入院率は約0.1%、重症化(人工呼吸器装着または脳症)率は0.005%、致死率は0.001%程度に過ぎない。 全体としてみればきわめて軽症の疾患であるといえる。 患者は圧倒的に小児に多いが、死亡者はまんべんなく全年齢に分布している。

ただし、発症から死亡まで平均5.6日であり、急速に状態が悪化する例も少なくない。また、入院患者の約3分の2が基礎疾患のない人であることから、多くの軽症の患者に混じってまれに存在する重症化する患者をどうやって見きわめるかは、きわめて難しい。

■ ワクチンに関する諸問題

新型インフルエンザワクチンの接種がまず医療従事者から開始され、それ以外の人々に対しても開始されつつある。その優先順位や、各集団における接種回数に関しては、種々の情報を

もとに修正が続いている。

現場からは、政府の方針がコロコロ変わるので困る、という意見がしばしば発せられている。これはもっともな意見であるが、一方で政府やワクチンメーカーなどの関係者が、限られた数しかないワクチンをできるだけ早く、できるだけ多くの人に供給するべく日夜努力しているのも事実である。現場も大変であるが、厚生労働省もメーカーも皆大変な時期であり、皆様にはご理解をいただきたい。みんなでこの大変な時期を乗り切りましょう！

なお、患者さんからの問い合わせの多さに悲鳴を上げているという現場の声も聞くが、遠慮なく都道府県のワクチン接種相談窓口を紹介していただきたい。一覧表は厚生労働省の新型インフルエンザ対策の Web サイト¹⁾に掲載されている。

11月13日の時点では、1歳から18歳までは2回接種、それ以外は原則1回接種となっている*。基礎疾患を有する人や妊婦についてもそうである。ただし13歳から18歳までは今後得られるデータにより1回接種に変更されるかもしれない。ここに至った議論は省略するが、流行がピークに近づいている今、**多くの人に1回目の接種機会を提供するという考え方は基本的に妥当である。**

最後に、ワクチンの効果（発症予防、重症化阻止）は不明である。まったく効かないかもしれないし、よく効くかもしれない。幸い、副反応に関する大きな問題はなさそうであるが、**皆が急いでワクチンを接種しなければならない状況にあるとはとても思えない。**

* ワクチン接種についての最新の方針は、厚生労働省の Web サイト¹⁾ および各都道府県からの情報をご確認ください。

1) 厚生労働省ウェブサイト。新型インフルエンザ対策関連情報。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

* 本記事の無断引用・転載を禁じます。